愛國婦人會機關

愛國婦人

每月五日二十日發行

一部金拾錢　一ヶ月金六拾錢　三ヶ月分
拾八錢　半年分金參拾六錢　壹ヶ年分七
拾貳錢　全國無遞送料郵券代用
（壹錢又は五厘切手）一割增

廣告料五號活字一行四拾錢
本號全部禁轉載

發行所　東京麴町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

電話番町五百二十番

本號には附錄として評議員司法大臣夫人波多野爲子廣島支部幹事件きく子神奈川支部幹事渡邊たま子の肖像附錄を添ふ

社說

秘密

世には何でもなき事を大事がりて、人に知らさぬものあり。所謂秘傳とか秘方とかいふものには、此類のもの多し。大層な名を附けて、勿體ぶらるるが故に、知らぬ者は、何んなものであらうと、難有くなりて、多くの時日と金錢を抛ちて、授傳を受けて見れば、案外千萬、人を馬鹿にするも程こそあれと思はるゝものあり。茶や花の罪なきものは、一笑に附しても濟まさるれど、寢て居て殖へる法、相場必勝法、病氣必治法などは、隨分人を誤らしむるものにて、畢竟其人の知慧の足らぬの致す所とはいへ、罪深き秘密の濫用といふべし。

しかしてこゝに秘密といふは、斯る性質のものにあらず、他人に知らされぬ內證事をいふなり、我れと我が心に語るの外、人には話せぬ或事を指すなり。而して之を秘め置く譯は、人が知ると自分に損が行くとか、自分の品位を下ぐるとかを氣遣ひてなるべし。然らば其秘密に、果して秘密として隱し置くの價値若くは必要ありやといふに、必ずしも然らず、多くは他愛もなき事を、仰山らしく秘密となし居るが如し。

一體婦人は內輪にて、秘密の多きものなり。男子は、隨眼して、言ひたいことは言ひ、行ひたいことは行ひ、少々の違ひ損ひは、「失敬」とか「赦るし給へ」とかの、簡單なる挨拶にて、それぎりに濟めども、婦人にありては、さう無造作には行かず、何時までも言行の祟りが、執念深くからむが故に、うッかり物もいへず、仕事もできず、勢ひ遠慮となり、表裏となり、秘密が多くなりて、天眞爛漫と行かざるなり。即ち婦人は男子に比すれば、餘計の氣苦勞を常になし居るものといふべし。

然らば其氣苦勞は、婦人の附きものにして、仕方のなきものなりやといふに、決して然らず。國によりては、隨分婦人が氣樂に暮らせる所あり。西洋の文明國、殊に米國の如きこれなり。米人は秘密の少き國民なり。氣が廣く、人間が暢び〳〵して居るが故に、日本人の秘密として、人に知らるるを恐るゝ大抵の事は、米人には秘密でも何でもなく、打開けて言ひもし、見せもするなり。例せば、彼國にては、お內のお住ひが拜見したしと請はるれば、主婦は快く承諾して、坐敷、居間は勿論、納戸、臺所、便所までも、案內して、衣服はこゝにかう仕舞うてある、皿や鉢はかう入れて居ると、隅から隅まで一々見せて、毫も隱す所なしといふ。日本では斯る場合には、豫め用意し、飾り立てゝ、それも坐敷位見せて、あとは御覽にならずとも、同じ事と、外には一歩も踏み入れさゝずに、先づは追ひ拂ふなるべし。其他之に準じて、婦人の內證といふもの、我國には格別に多きが如し、それて人に接して、笑ふにも眞底から笑はず、言ふにも有りに言はず、たゞ上部で受けつ流しつして居るが故、交が儀式的にして冷かに、しかも氣骨の折れ方は一段と大なり。それも御維新前に比すれば、今日は餘程婦人の自由が利きて、遠慮容赦も少くなりたれども、之を歐米の婦人に較ぶれは、まだ〳〵我國の婦人は、多くの內證事を胸に藏ひ蓄へて、入らぬ所に心配して居るなり。

固より一切の秘密を打開け、何も彼も皆言うて仕舞へといふにあらず、程々につゝましきは、好きことにて、願はしけれども、我國の「程々」は、實は格外にて、あんなに隱す必要は何所にもなきなり。人は秘密の少きなど氣樂なるものなり。秘密多き人は、常に注意して、之を守らざるべからず、從て寢るにも樂に寢られず、起きては尙更人が皆探偵の如く見えて、益々油斷がならず、求めて入らぬ苦勞をすることゝなる、されば秘密は成るべく少きが好く、出來れば、なきに限るものなり。

日本人とは眞底からの交際が出來ず、何時までつき合うても、心の奥に何やらあるやうにて、氣がゆるせぬとは、往々聞く西洋人の評なるが、如何にも斯樣な所があるやうなり。これは一體日本人の癖にて、男子も其數には洩れねど、殊に婦人に於て甚しきなり。されば日常の交際を暖みあるものとなし、外國人とも心よくつき合はんと欲せば、先づこの秘密を少くせざるべからず。然らざれば、如何に飾り立てゝ出ても、社交は面白くも何とも なきなり。秘密多きは、信用を博する所以にあらず、自分の幸福の爲にも、仕事の上にも、人は公明正大にありたきものなり。

歌御會始に選歌の榮を擔へりし婦人の歌

權典侍　正四位　小倉文子刀自筆

百萬枚

本會が出征軍人慰問の爲に、蒐集せる繪はがきは五萬枚も集まれば好いがと、實は願ひ居たるに、其實際は豫想を遙に超過して、僅五十日の間に、其二十倍の百萬枚に達したり。これ豈驚くべきの現象にあらずや、畢竟我國婦人が、出征軍人を思ふことの如何に厚きかを證據立つるものにして、國家のため實に慶賀に堪へず。これ百萬のはがきに就いてにはあらず、はがきが集まるの志に就いて、之を云ふなり。又本紙として、二度の小き廣告が、是だけの成績を來したることは、注意を以て本紙を讀まるゝの證として、讀者に感謝するの外なきなり。

冬の植物

他の草木の枯凋せる間に在て、松柏は獨り蒼く、梅花と水仙とは獨り笑めり。天は眞面目なる教訓を、冬の草木に由て示すものにあらずや。

日本の家屋

冬は寒きものなれども、日本人ほど文明國にて、寒く過すものなし。これ家屋の構造暖室に適せず、內外の空氣殆ど同溫度なればなり。ストーブなく煙筒なく、僅に火鉢や炬燵にて、一部の暖を取るが如き不完全なる家屋は、西洋の田舍にもなし、他の進步に伴はざる大した後れ方なり。

爐邊

爐邊は冬時一家團欒の場所なり。爐邊の樂を受くる能はざる家庭は憐れなるかな。炬燵は之に代るべきものにあらず、炬燵は人を怠惰ならしむるものなり、轉寢のお宿なり。

和洋折衷

役所や學校は西洋、住家は日本、椅子に疊に、靴に足袋、日本の生活も面倒なる哉。動物に水陸兩棲あり、人間に和洋折衷あり。

居坐

日本の家屋にては坐らざるべからず、從つて物を取るにも、一々立つて又坐るなり、これ甚だ厄介なり。居坐は人を怠惰ならしむ。冬の寒き室內に於て殊に然り。お負けに懷手も仕度なるものなり。日本人の活動を一層盛んならしめんと欲せば、家屋の構造を改め、居坐を廢せざるべからず。

衣服

冬は寒からぬ程に着服すべし、寒ければ落付かず、考までも凍るものなり。伊達の薄着はほんの伊達なり、役にたゝず。

出征軍人

これらの行を書くにつけても、先づ思はるゝは、出征軍人なり。厚衾着重ねても尙寒さを覺ゆるに、攝氏〇下二十度、氷雪中の露營、戰鬪は如何ならん。之を思へば、內地に在る者の如何なる艱難も物の數ならじ。奮ひ勵めよ人々。

道場

戰士は戰線に近くほど、眞面目の度を加ふといふ、死生の間に出入して、活きたる鍛練を經たる人の多くなることは、國家の大なる強みなり。學校にこれほどの力なし、戰場はまた一大道場なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎女子教育談

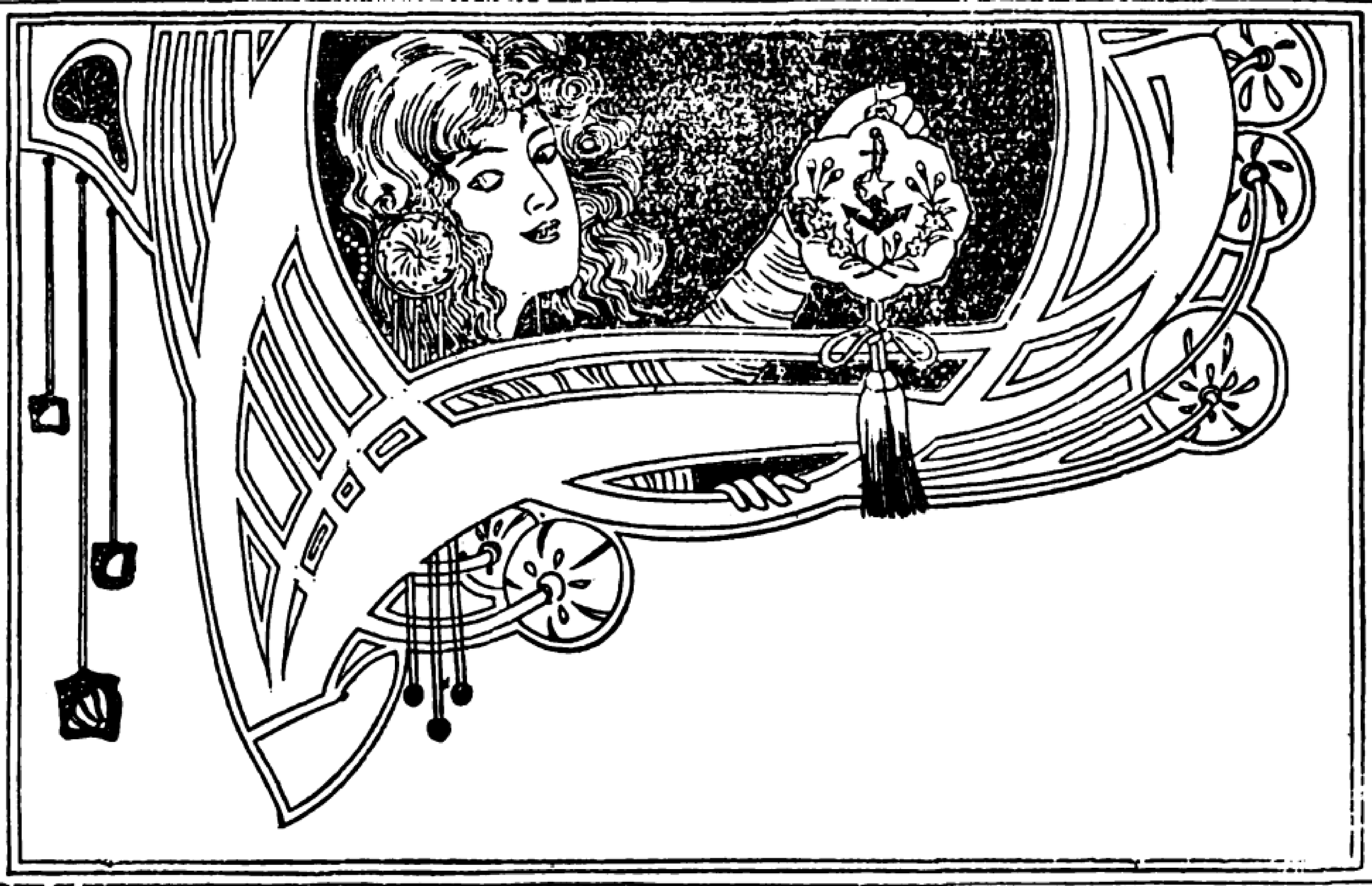
文學博士　箕作元八

●世界に稀なる婦人　日本の婦人は世界に殆ど類のない程貞淑温順で而も場合に依ては勇猛心を以て滿ちたる献身的婦人であるといふも差支ないと思ふ是は畢竟多年日本固有の精神教育の結果であつて決して歐米傳來のものではない其缺點は無論あるけれども一も二もなく之を廢して今や少からず弊害を生じつゝある歐米の女子教育主義を國情も歷史も顧ず其儘輸入せんとするが如き事は甚だ間違ひである其結果男女同等論女子獨立論等の主張を見るに至り殊に近頃政治的得權運動を爲すが如きに至つては沙汰の限りと言はねばならぬ

●科學的智識の素養がない　日本婦人の精神教育は依然として日本固有のものを保存しひたすら之を發達せしむることに務むるのが捷徑であるが悲しい事には今日の日本婦人には科學的智識がない自分が歐米を巡視して上流社會の婦人にも接して見たが其或ものは（少數なれども）實に科學文學等に達して居つて男子も耻かしき位であつて而も決して其を鼻に掛けるやうな事はないこれてこそ男子をして眞に尊敬の心を起さしむるのである然るに日本の婦人は其智識なり趣味なりが男子に劣る事が非常であつて夫れが爲に男子をして自己を尊敬せしむる事も出來ず又男子を奬勵し藉保護救濟する事も出來ない故に必要なる科學的智識を授けて其常識を發達せしめ健全なる文學美術を教へて其趣味を高尙にせしむる事が最も必要である

●權力強き女子の弊害　女子の權力の強いのを文明の徵候の如くに思ふ人があるが西洋では現今は女子跋扈に對する反動の暗流が湧出て居る學者の妻君が其夫の學問に忠實なるに同情を表せずして己が交際好きなる爲に其夫をして氣の毒なる狀態に在らしめて居る又品性高く且地位ある人にして圓滿なる家庭を作る可き適當なる婦人なき爲に特に結婚せぬものが中々多い日本も少しく注意せぬと斯樣になる恐れがある

●西洋に於ける圓滿なる家庭　しかし西洋の家庭皆斯樣な有樣ではない中には極めて理想的のものがある一例を擧ぐれば余が知れる或有名なる學者の妻君は學問もあり又文學美術の趣味もある人なれども少しも人に向つて其を振廻さず其家庭は質素に愉快に總て愛を以て包まれて居る主人は大學者なれども眼病にて多く讀書するを得ず而して諸方より新著書が殆ど日々送呈せられつゝある其多數は專門家の外には興味なきものたるに係らず夫人は每夜其夫の爲に之を讀み聞かす事を日課として居り其外夫が其學問上に好成績を得たる時に非常の同情を表し失敗せる時は勉めて之を慰める斯



くの如くなれば夜會等に行く暇もなく慈善事業には加はつて居るが素より虛榮心の無き人故名前を人に知らるゝを目的とせず且之れが爲に家庭の任務を怠る如き事は絕無にて下婢の如き十數年も仕へて居る者があつた之れは西洋では滅多に無い事である而して夫人は交際をせぬにも係らず其住居する市の人々よりは理想の婦人として尊敬されて居つた惜いことには今は死去された要するに西洋とても貞淑温良の夫人を尊び家庭は差置きても外部に働きて功名を顯さんとする婦人をば理想として居らぬのである

●女學生　我國の女學生は實に美服を着る此節自分の實驗する所では歐米女學生の服裝よりは餘程華美である西洋では學生の間は質素なのである然るに日本の或女子教育者は女學生の華美を戒めざるのみならず運動會の如きも外觀を美にして歡心を買はんが爲に衆人の前で異樣の服裝を爲し運動其者よりも外部の異彩に重きを置くが如き果して之が文明的の教育であらうか且此等學生は早くより家庭を放れて學問に從事する爲に日本固有の家庭の美風を受くるの機會を失ひ結婚期は益々晚くなり完全なる良妻賢母を作る事が出來なくなる夫れから靑年男女が修養時代に於て交際々々と騷ぐは以ての外の事で西洋では女子が男子より數多く且生活が複雜困難であるため交際は良緣を求むる上に必要の事となつて居る然し乍ら學生時代に靑年男子と無暗に交際する如き事は歐洲の父母は中々やかましい最も自由なる米國すら父母は或少數の若き男子（即ち婿となしても差支なしと思ふ若き人）との外は左樣に無暗に交際させぬ返す〲も地方の父兄等は最愛の娘を監督者のない土地へ出す事は考へて貰ひたいものである

◎旅順の開城に對する批評

相談役　子爵　谷干城

熊本籠城を以て有名なる谷將軍が記者の需に應じて旅順の開城に對し批評を加へられたる要領なり紙面狹きと記者の筆鈍き爲に其十分の一を盡す能はざるを遺憾とす

●東洋流の開城　東洋の風俗慣習と西洋の風俗慣習とは大に異なる所があるから東洋流の思想を以て西洋の遣り方を判斷し批評する事は出來ない東洋流では名譽の開城と云へば例へば毛利家の家臣で備中高松城を守つて居つた清水長左衛門と云ふ人は城が水攻めになつて愈々守る事が出來ないから豐公の方へ開城を申込み自分は自殺して將士を救つた又近い例では支那の丁汝昌の如きも降伏の時は自殺して其名譽を保つたのである故に東洋流で云へば身を殺して仁を爲すていよ〱降る折は責任を負うて其主將が自殺するのが當然になつて居るが西洋の宗敎では自殺は神に對する罪であるとして居るから自殺しないからとて必しも不名譽と云ふ事は出來ない

●オスマン氏の開城とステッセル氏の開城　紀元千八百七十六年に土耳古と露西亞との戰ひにてプレブナに於て土耳古の大將オスマン氏が名譽の開城をした事がある是れは歷史上有名なものであるが露國から三度まで降伏を勸めたが三度共に之を退けた其降伏を拒絕した意味とステッセルが此度の戰に日本の降伏勸告を退けた意味とは殆んど同一になつて居るオスマン氏の部下は將校以下下士卒迄相一致して居つたから內輪のあらが見えない然るに旅順には海軍と陸軍とが交つて居つた爲に不統一の有樣が見える然し開城後に至つて敵將中に其主將の惡口を云ふが如きは苟も國を思ふの士でないと云ふ事が出來る

●西洋主義から云へば名譽の開城と思ふ　ス氏もあれ程よく勸めた彈藥も盡き兵卒は四分の三も失ひ所謂刀折れ矢盡きての降參である今日の進步したる武器であの位長く耐へる事は將來の歷史ではむづかしい皇帝の命も受け盡すだけの事は盡して降參したのであるから西洋流から云へば名譽の開城と云はねばならぬ自殺するせんは問題にならぬ

●開城會議成立せしや否や　露國の軍法によればいよ〱開城するかせぬかを決する時には上長官を集めて會議を開き假令一人たりとも不同意があつたならば開城は出來ぬ規定である全體の人が開城と決せば後に至つて軍法會議でも問はれぬ事になつて居る此會議が完全に成立せしや否や後より得たる報道によれば此點が少しく不十分ではなかつたかと思はれる

●籠城の目的　元來籠城には夫れ〲目的がある第一は援兵の來るを待つか第二は敵兵を牽制して置く事が出來るか例へば旅順で云へば乃木軍を引付けて居るのは沙河の方面を破る手段として引付けて居るとか海軍をして他に向はしめざるの目的にて牽制して居るとか云ふので最後は一方の血路を開いて出るか又は降伏するかと云ふより外に途はないものである露國には降伏規定なるものがあつて兵三分の二を失へば降伏してもよい多數の兵士を無益に損ふを禁じて居るからス氏も先以てよくやつたのである歷史上確に將來稱贊せられる事と思ふ

●結論　要するに日本人の眼から見れば不十分かも知れないが國情が異なるので致方あるまい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

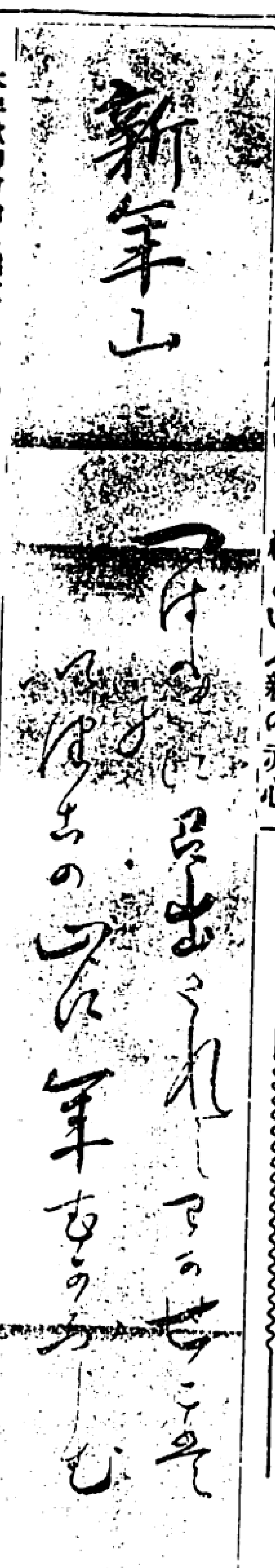
まごゝろ

中村春雨

いづれも年配十八九の、艶かな前髪を高く取つて、一方は白薔薇、一方は西洋菫の花をかざし例の流行の、オリブ色の肩掛の端を乳の下の邊まで垂れて、お揃の小紋縮緬の羽織にカシメルの海老茶袴の裾ちらほらと蹴返しつゝ、靴の音も小刻みに雷門の甃石に繊るが如き群集の中を千鳥に縫うて、山門の方へと歩んで行くのである、白薔薇は人氣に蒸されたやうに赤い顏をしてほつと吐息を吐いて『律子さん、これぢやア眞實に堪らないわ、こんな群衆の中へ入つては、私なんかもう頭痛が出さうなのよ、寧そ眞直に、電車で歸ればよかつたのだけども……』『善いぢやアありませんか、迷信を見に來たんてせう、少し位苦い思をしたからつて何も學問てすものね……』『そりやアまア然んなものだけどもね、若しこゝらで、朋友の人に見附りでもしやうもんなら私等も矢張觀音樣へ參詣に來た連中と一緒にされて、學校て其事を吹聽されるかも知れなくつてよ、私、何んだか山門を潛るのも馬鹿々々しくなつちやつたの』『蝶子さんは眞實に氣まぐれなのね、折角此所まで來て、今更そんな事を云ひ出さなくつても善いぢやアありませんか、行きませうよ、ね、行つて本堂へ上つて見ませうよ、それはもういろんな迷信が目に附きますのよ』と、進まぬ友人の肩を引張るやうにして、無理から連れて行くのである『お願ひてございます』と、突如に、山門の閾際で聲をかけて、鼻先へ布片を突附けた老婆がある、蝶子は吃驚したやうに眼を睜つたが、老婆は睫毛を瞬いて、紺絲つけた針を此方へさし出しながら『お願ひてございます、戰地へ出た悴の彈丸除の守てございます、千人の御婦人方に一針づゝ縫うて頂くのてございます……』『ほら……迷信よ』と律子は嘲るやうに小聲で云つて、蝶子の袖を引く『何卒貴孃．：お願ひてございます……人助けてございます』と拜むやうな手附、見ると眼中は火のやうに血走つてゐる蝶子の瞳は見る〳〵輝き出したが、默つて、針を手に取るより早く、一針縫つて、手渡すると、老婆は嬉しさうに叩頭して、直と律子の方へさし出した『お願ひてございます』律子は見向きもせず、もう二足三足先に立てる蝶子の傍へ駈け寄つて眉の邊に侮蔑の色を浮べ『貴方はまア呆れた方ね、とう〳〵迷信の仲間へお入りなすつたぢやアありませんか』蝶子は默つて、俯向いたまゝ、歩を運んでゐる『友達に見附つたら笑はれるなんて云つて置きながら、その場であんな老婆の迷信の相棒に引込まれるなんて、眞實にお話にも何もなりやしないぢやアありませんか、第一學校の不名譽だわ』と律子は憤り立つてゐる、『律子さん……』と、もの柔らかに云つて、微笑みながら『私は迷信とは思はなくつてよ、あの婆さんが自分の子を思ふ赤心からあゝ云つて頼んでゐるのですもの、私も赤心から縫つてやりましたのですわ』『だつて貴方、當る彈丸は當らうし當らない彈丸は當るまいし、そんな事をしたつて、しないつたつて……』『だから、私縫つてやりましたの、彈丸の當る當らないは天運てございませうけれども、何卒無事てゐて御國の爲に働いてくれといふ親の赤心と、それに同情して、武運長久を祈つてゐる千人の赤心が躰の周圍に附き纏つてると思つたら、こんな心丈夫な事はないてはありませんか、私は赤心で以て、あの人の息子さんの躰に敵の彈丸の當らぬやう祈るのでございますよ』と、聲尻は慄えて、そつと手巾で眸を拭く『私が惡うございました』律子も慄え聲で云つて、俄に山門の方へ驅戻つて行くのである

（完）

本年歌御會始に選歌の榮を擔へりし婦人の歌



陸軍二等卒大須賀昌二氏妻まつ江刀自自筆

○老婦の膽力（笹山吉之助祖母）

須藤求馬

今は昔元和の頃、官家の士に笹山吉之助といふ者あり、その祖母は栗原道有といふ人の女にて、天壽院殿の侍女なり、此天壽院殿と申すは、すなはち豐臣秀頼公の政所にて、德川家康公の孫女なり。さてこの祖母、或夜深けて目ざめたるに、盗人脊戸なる土藏の屋尻を切音を聞きつけ、折しも吉之助は生憎御番の留守にて孫を抱き居られしが、懷に抱きながら帯刀し、竊に土藏に入り伺ひ居られたり、盗人程なく屋尻を切りすまし穴より這入る所を、祖母刀を拔て盗人の首を斬り落し、死骸を手早く穴より引入れ脇に片よせ置きたるに、又一人穴より這入る者あるを、又首を討ち落し前の如くして待居られたり、やゝ暫らく音もなければ、最早盗人はなきかと穴より覗かれし時、顏をさし入る盗人と見合たるに、盗人大に驚き、いづ地ともなく逃げうせぬ、是れは盗人の大將なるべし。大阪戰場を經たる婦人は、格別に膽の太き事なりと、當時人々申しあへりしとぞ。諺に生兵法は大疵の基とやら、男子たりとも愼むべき事なり、まして女子をや、然れども女子たりとも、人間自護本務の爲、又膽力を鍛ひ練る爲には、武藝の嗜みもチトありたし、短銃の打方、匕首の使法、乘馬泳術の稽古位は、今樣の姬御前達にも、御會得ありたきものなり。

◎呈男爵松平正直氏書

近衞步兵第二聯隊三大隊　陸軍一等軍醫　村上一學

戰地に在て最も貴重にして最も樂しきは新聞紙と知友の書翰に候ものは無之候處本月六日午後六時に十二月廿日發行第六八號の「愛國婦人」と題せらるゝ新聞紙の恵與を受け候故乃ち豕油に火を點し拜見するに紙面實に紳士淑女の高説を以て充され誠に好新聞よと存候へば宛然醉へるが如く暫し恍惚と致候特に男爵閣下の御記事は不肖の赤心を其儘に摘錄し賜ふかと疑ふ程に符合致し不思拍手仕候不肖は近く敵と對峙せる近衞第二聯隊第三大隊に配屬せられ兵は夜の寒さに如何にして臥すかと思ひ殆んど每夜最低温度四五時の頃彼等の穴廠舍を巡視仕候に或は足を伸し或は屈み一枚の毛布に被はれて熟睡せざる者の如く或は起て燃火する者も有之候廠舍内の温度を計測するに構造の成否に由るも惡しきは○度以下十三四度にて兵の顏を被ふ毛布の上は呼氣凍りて霜を置きたるが如し霎間時に聯隊長大隊長殿巡視し汝等如何夜の寒に眠るを得るやと問はるゝに「寒くありません」「能く眠ります」と答ふ上官微笑面を背け眼を濕さるゝを見る此將卒の情無量にして筆の及ぶ處に無之候之れ畢竟閣下の忠孝仁義の敎へあるのみと存候今にして日本の國情が若し歐化者流に由り歐化せんか恐くは同時に數千來鍊りて固めたる日本魂も浴化し去んと存候ば戰慄の至りに御座候明治の日本は武士的精神の修養一倍大切に有之候儀と確信仕候閣下卓見の筆法を以て日本婦人を御指導賜はらん事を切に希望致候國家の爲に遙に閣下の御健康を祈る閣下亦御自愛あらん事を乞ふ

◎春に（西詩より）

文學士　波心生

おゝ春よ！　春の女神よ！
露おべる　垂れ髮月に
心地よき　朝の窓より
はる〳〵と　見おろす汝よ、
淸げなる　なが眼をば
わが西の　小島に向けよ、
民ぐさの　なれ迎ふべく
調べ合せて　歌ふを見ずや。

山やまは　囁きあひつ
耳たてゝ　谷ぞ聽くなる、
人みなの　こがるゝ眼
かくは今　仰ぎ見るかな
汝が前の　輝くとばりを、
その帳　早や押し退けて
訪づれよ　わが住むところ
玉の歩みを　輕くはこびて。

ひんがしの　山越え來れ、
そよ〳〵と　吹く風をして
歩む每　匂ひゆかしき
なが衣に　口つけしめよ、
朝ゆふの　なが吐息をば
人ごとに　味はせてよ、
汝が持てる　眞珠を撒きね
汝待ちえんと　こがるゝ土地に。

あはれ汝が　艶なる指に
飾れかし　わが國土を、
そが胸に　ながやはらかき
口つけを　許してしがな、
力なき　その頭には
黄金なす　冠おきてよ、
愛らしき　その捲髮は
只汝がために、　粧はれしぞ。

◎作歌募集

▲歌題　光宮殿下の御降誕を賀き奉る
出征軍人に繪葉書を贈るに添へて
▲撰者　某公爵夫人
▲作歌數　一人一題三首以下
▲期限　三月五日限り
▲優等の作歌は本紙に披露し高點者五人に貴婦人自筆の短冊を進呈す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎東洋一の大汽船ミネソタ號の室内及び其臺所

●婦人の觀覽者が少い　西洋では珍しい者と云へば第一に婦人が見に往くと云ふ有樣で日本の軍艦が英國の港などへ着いた時は婦人は下婢に至るまで出掛けて詳細に見物して批評すると云ふ風であるとのことであるが海事思想の薄い日本婦人は世界有數の大汽船が着いたと云うても殆んど見に往きて實地に智識を擴めやうと云ふ思想の尠いのは頗る遺憾であるそこで記者は會員に代りて六大臣の見物に往かれた日即ち本月十二日の午後にかの船を見に往つた

●其外觀の壯大　ミネソタ號の近所に假裝巡洋艦○○號が碇泊して居つたがとても比較にならぬ象と馬と比べたやうである檣は四本煙筒は黃色で十餘人位手を擴げて回される位ある甲板の上に一二等の客室かあつて之れが三階になつて居る遠方から見ると宛然御城の樣に見えるそれも其筈噸數二万一千噸長さは六百三十呎巾七十三呎七吋なりと云ふ

●輕便なる室　一等室には寢臺が二つづゝ供へてあるが其左右には抽出しのある箱が幾つも備へてあつて旅行用具が入れるやうに出來て居る其寢臺を疊めば戸棚の中に這入つて仕舞ひ折椅子や机が其中から出て來戸棚の中には折くぎか在つて洋服を引かける仕掛になつて居る上の方には電燈があり又各室の人と話しが出來るやうに電話器も備へてある其附屬に化粧室があつて其處には陶器製で一人が寢られる程の風呂が据ゑてある別に鏡立があり洗面所がある

●大きな室　旅客の共用に供する大きな室が澤山あるが婦人室と云ふのが立派に且大く別に出來て居る其處には種々な書籍も備へてあつて椅子を取除けば此處でも數組の舞踏は出來る又上等の食堂は殆んど五百人位這入つても差支はない程である一等室は二百五十三人二等室は六十八人三等室は二千四百人も乘る事が出來るのであるから三等室の方へ降りたら迷ふて容易に出られぬ程である

●料理室　誰も丁寧に見ない處であるが記者は最も注意して見た料理室は二十疊敷位の室が二室供へてある其一室には大きな料理臺が置いて料理人が二十人位周圍に立つて料理が出來る程で其料理臺の下は皆抽出してあつて各々受持の器具器機が入れてある肉を煮る竈が左右の室に六つ供へてある其竈も東京の西洋料理屋では見る事の出來ない大きなものであるパンを燒く處は普通の汽船の機關程の仕掛のものがある棚には諸道具が整然と幷んで居るが其器具が皆大きい料理人は主なるは西洋人であるが其下働きが支那人て、皆白い服裝をして居る其室の清潔にして一物も置き散らしてあるやうなものは無い別に肉類の貯藏所の冷藏庫を備へて居るが是れ等は他の汽船に見られぬ處である

◎改良されたる臺所

(松野礀氏の臺所實見と同氏夫人の談話による)

●燃料が入らずに長く煮える工夫　私が昨年獨逸へ歸りまして親類の處で行うて居るのを實驗して歸り只今專ら試驗中でありますがそれは永く物を煮るのに燃料の入らぬ工夫が發明されたのでありますそれは最も簡單なので一つ石炭箱の如き箱を作りそれに枯草を一杯つめて置くのですさてソップなどを作らうとするのに鍋で三十分程煮立てゝ其儘臺を取らずと枯草の中に埋めて仕舞うて上下左右より空氣の這入らぬやうにして一晝夜置くと立派に火で絶えず煮たと同じ程のソップが出來ます

●日本の竈は不便なり　私は日本に參りて久しくなりますから種々な事を實行して見ましたが日本の竈は不便であります薪で燃きますと烟りが澤山に出て火の勢力を弱め眼から涙が出て釜の尻が黑くなり尙又家が眞黑になり御飯の出來るのに時間がかゝります又炭で七輪で湯を湧かしましても矢張り白い灰が立つて室が眞白くなりますそこで私は瓦斯會社から瓦斯器を購うて瓦斯で煮燃をして居りますが大きな藥罐でも十分かゝれば湯が湧きまして御飯でも早く出來ますし經濟上でも瓦斯の方が餘程安く付くやうに思ひます器械の購入費も廉價で出來ます

●諸商人の出入を禁ず　臺所の中へまで諸商人が這入つて來るのは第一不潔であるし料理人も爲に時間を取られるし必要なものがなくなる事かあるし風儀にも關するし總ての點から見て小商人が臺所へ這入り込むと云ふ事は臺所の秩序を亂る基でありますから出入の口を小くして草鞋の儘では臺所に來る事の出來ぬやうにして座板を張り用事のあるものは外から用事を聞くやうにして居ります

●臺所は餘り廣くないがよい　臺所は餘り廣くない方が立働くにも時間がとれないし塵も積む餘地がなく常に清潔を保つて往かれます御覽の通り私の臺所では第一光線のよく這入るやうに四方を硝子で張り夜は電燈を點し時計は必ず備へて時間の正確を計らしてあります棚も奧深くは作りません淺くして幾段も區畫して居りますこれも餘り深いと塵が積むからであります

◎如何にせば貧乏になれるか(家政寶話)

●昨日の爲に今日働らき昨年の爲に今年働くやうな家は年中仕事に追はれて必ず貧乏になれる

●明日働いて儲けるからとて今日酒を飮み明日は月給日なりとて今日御馳走せば必ず貧乏になれる

●己の收入のひたすら增さん事のみあせり其收入以内て暮さん事を計らざる家は必ず貧乏になれる

●足る事を知らずして何時立つても足らぬ足らぬと不足を訴ふる主婦を持つ家は必ず貧乏になれる

●夜は九時なるに十時なりとて寢ね仕事は半分外出來ぬに八分も出來たりとて休ば必ず貧乏になれる

●損失を知て尙其事を放さゝるは恰も燐寸が手に移るを眺めつゝ捨てざるに等しく必ず貧乏になれる

●少しく富たりとて直に食膳を改め衣服を作れば餘裕の金錢生ずる能はずして必ず貧乏になれる

●米を炊ぐに當り米粒を流しに流して仕舞ひこれを拾ひとらぬやうな婦人を持ば必ず貧乏になれる

●夜になつても國旗を納めず干物臺には依然として干物が置いてあるやうな家は必ず貧乏になれる

●郵便の受付數次第に減じ遂に郵便脚夫の足跡を絶つに至るか如き家になる時は必ず貧乏になれる

●翌日はいよ〳〵食ふ事が出來ぬと定まれば鍋釜は洗はぬ心になる斯る時はます〳〵貧乏になれる

●役人が免職されしにかゝはらず依然元との服裝にて外に出るやうにつとめる人は必貧乏になれる

●汗て儲けた收入に滿足せず富籤の當るを宛てに前祝ひだとて散々に奢るの家は必ず貧乏になれる

●手水鉢には水がなく手拭ひは洗はず便所には蜘蛛の巣か張つて居るやうな家は必ず貧乏になれる

◎食物の鑑定法

●米の良否を知る法　白米は粒々よく揃つて形肥え色白くして光澤のあるのがよし下等なのは其粒を手に取りて摩擦しても光澤を生ずるとなく且つ灰色を帶び其形は痩せ質は脆くして容易に碎け粒の大さも甚だ不揃にして種々の雜物混し炊きて味の劣れるは勿論なり

●魚の新鮮を知る法　魚は其生きたるを調理すべし鰓の色鮮紅に眼球に光澤あり肉締りて硬く鱗も亦よく附着して容易く剝脱せざるものは新鮮なり魚は必ず頭の方より腐敗するものなり併し近來鰓を染めて賣る奸商あり注意を要す

●貝類蝦蟹類　貝類は其變敗したるものは口を開くものあり又蝦蟹の類は死して後ち時間經過せば赤色に變ず凡て動物性の蛋白質が腐敗せば屍毒を生ずるにより用ゆべからず

●鳥獸肉　硬くして之を指にて押せば彈力を感ずるがよし色は種類によつて異なるも同部同色なるべきに處々に斑點を生じたる如きものは病的の肉にして疫病又は病死したるものゝ肉なり又脂肪に光澤あるものは新鮮にして光澤なきものは古き肉なり又煮て量の減ずるも良肉にあらず

◎泰西婦女訓

●好き行ひは舌なくも甚だ勢力ある者あり人を感化するの力は言語を以て敎ふるの比にあらざる也

●兒童が目に依つて感化を得る事は耳に依つて得るより大なり恰も虫が其食する色に似るにひとし

●父母の爲せる擧動は其子はこれを再三再四行ひ試むる者なれば極めて些々たる行も輕す可からす

●人は一言を云ひ一事を行ふ每に世に感化影響を與ふる者にして其勢力結合して社會の風俗を作る

●社會の上流に立つ人の一度び遊惰の惡習に染むときは一世を擧げて腐敗墮落の惡風に馴致す可し

●世に二種の人あり一は默して他人を敎化する人一は他人に敎化せらるゝ人敎化する人程貴は無し

●人誰れにても前より善き時と前より惡しき時とあり是れ善人に接する時と惡人に接する時の差也

●現在の人は過去に根を發す吾等の感化は祖先より受く吾等は子孫の爲によき儀範を遺す義務あり

家政上の法則を簡明に網羅せる婦人必携の書なり軍國の際能く法則を心得家内に無駄を生せず堅忍持久せしめん爲に發行せり定價十二錢郵送料不要郵券代用不苦

婦人圖書閲覽所

●毎日午前九時開所午後四時閉所●

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

心得家内に無駄を生ぜず堅忍持久せしめん爲に發行せり定價十二錢郵送料不要郵券代用不苦
東京市麹町區下二番町三十七
大日本女學會
電話番町千三百三十番

婦人閲覧所
◉毎日午前九時開所午後四時閉所
◉愛國婦人發行所内に置く
◉婦人に限り随意閲覧を許す
◉閲覧料無料なり

愛國婦人會記事

廣告

本會第四回總會ヲ來ル四月二日開催候筈ニ付此段及御通告候也

但參會者ヘハ汽車汽船割引券交付ノ都合有之候間來ル三月十五日迄ニ本部ニ到達可致樣各支部ニテ其員數御取纏メ御申出相成度候也

明治三十八年二月　愛國婦人會

各支部御中

◉評議員例會　二月廿二日（第四水曜日）三月八日（第二水曜日）三月廿二日（第四水曜日）

◉理事顧問會　本月七日午後二時より理事顧問會議を開けり出席者は岩倉會長、近衛、島津兩理事、顧問、島津公爵、岡部子爵、伊東子爵、谷子爵、清浦男爵、松平男爵等なりし

◉評議員例會　去にし八日の例會に出席者は理事近衛貞子、監事九條惠子、評議員岡部坻子、松平八百子、千家俊子、松平須磨子、神山万佐子、波多野爲子、濱尾作子、仁杉歌子、中山幸子、岩佐德子、關郁子、鄭濱子、藤井とく子、松浦島子、佐方鎮子等なりし

◉恤兵繪葉書百二拾五万枚集る　二月十一日を〆切り期限として募集に着手せし出征軍人へ送る繪葉書は各支部の盡力により百貳拾五万枚の大多數を得るに至れり其内最も多き支部は埼玉の四十万枚東京の三十四万枚熊本の二十一万枚等なり

◉各支部評議員新任　新任者左の如し

群馬支部　隈元きく子、佐藤つた子、大東たけ子、沖よね子、矢崎千代子、村井もと子、清水信子、古野音和子、山口光子、屋代直枝、江原とよ子・奈良支部片岡きく子、猪狩愛子、富澤梅子、桑原直子、佐川美代子、木本ヤスノ子、白井りう子、島田菊子、松井八重子、大森ヤス子、大森芳子、關富子、關猶常、中村美榮子、神尾キノ子、愛知支部山口富江子、藤田類子、靜岡支部竹内晴子、長谷川千瀬子、宮城支部香阪禮子、富山支部密田つね子、中田ヱイ、關野ヤヱ子、石坂彝子、前田久美子、鈴木みき子、遠山珪子、久保まさ子、牧野八重子、雀部勇子、杉村しほ子、内野榮子、山口支部塚本とめ子、山田榮子、大分支部安田鹿兒子、添田貞子、肥田靜代子、上田國子、中尾トマ子、中村キワ子、安東テツ子、中山梅子、後藤シズ子、岩田英子、大町禎子、北村延子、佐賀支部野々山敬子、池田きよ子、永淵あさ子、松尾よう子、江副つな子、豐増はしめ子、熊谷よしみ子、津田むめ子、高宗のぶ子、東島みね子、青木まき子、神崎よし子、武富ぬひ子、熊本支部子爵夫人細川千鶴子、櫻井とみ子、鹿兒島支部男爵世嗣夫人島津さゑ子、太田みち子、俵まつ子、鶴尾國江子、田中たね子、百瀬ひさ子、秋田蝶子、吉岡延子、上村しげ子、

◉寄附金披露　其後本會への寄附金は左の如し

金參百圓　在戰地　某將軍
金貳百圓　東京　前男爵夫人　内海千代子
金百參拾五圓　日本橋區　玉塚豐子
金百圓　麻布區　竹内静子
金百圓　四谷區　荘司清子
金百圓　台灣　臺南新報社醵金
金百圓　兵庫　マシユー、ウイグナル
金百圓　在佛國　本野久子
金五拾圓宛　兵庫　ゼームスグリーン
　　　　　兵庫　グリーン孃
　　　　　兵庫　エルダー、グリーン孃
　　　　　兵庫　アンナ、ビショウ
　　　　　下谷　守田寶丹
　　　　　下谷　守田治兵衛
金參拾五圓宛　智利國陸軍大佐　ソラール
　　　　　西班牙國陸軍大尉　エレーラ
金參拾圓四拾六錢　在鳥取　バーレット氏取次
金貳拾圓宛　赤坂區　幹事一同
　　　　　岩手　池松鐵子
金拾圓宛　本所區　山田義之助
　　　　　淺草區　鶴淵初藏
　　　　　淺草區　鶴淵糸子
　　　　　兵庫　牧野つる子
　　　　　北米アラスカ　竹原延次郎
　　　　　在清國抗州　大河平喜久子
東京水産講習所長松原新之助氏家族より左の通り寄附
金八圓四拾六錢七厘　（内職ヲナシテ得ルタ醵金）　母　逝純
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　妻　たか子
金六圓　（日々間食ノ菓子ヲ廢シ其代價貯蓄セレタルモノ）　男　五郎
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　娘　よし子
金四圓　（結髪ヲ廢シ其賃金ヲ貯蓄シタルモノ）　下婢　島田つね
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　小池ゆき

◉在シヤートル久水領事并同夫人の盡力　米國シヤートル日本頭事久水三郎氏并同夫人久水和歌子氏は同地に在る西井操子氏等と共に本會の爲に大に盡力を爲し會員多數人を募集し内外人よりの寄附金六千九百圓會費二千三百圓を取纏め此程本部に送付し來りたり

◉會員現況　一月末日調の會員總數は二十七万八千八百三十六人にして内特別會員三万五千三十九人通常會員貳拾四万三千七百九十七人外に贊助員貳万三千七百八十八人あり其内規準以上の數（規準數とは一支部百人に對する一人を得たる數を云ふ）に達せし支部は二十五あり其内最も發達せるは京都、兵庫、山形、石川、富山、岡山、熊本、の各支部にして最も發達せざる支部は新潟、岐阜、和歌山、等の諸縣なり

◉遊説員の一行　野中やち子氏は二月八日出發三重縣支部遊説中富樫眞貴子氏は尚引續き京都支部内遊説中にて多分本月中はかゝることの由

◉熊本縣支部　支部内玉名郡腹赤村幹事岡村とく子の盡力にて同人居村及外二ケ村合併にて左の如き規約出來たりと云ふ

◎愛國婦人會一部協約

一、本會は大日本愛國婦人會の趣旨（本會は戰死及準戰死者の遺族を救護すると及び重大なる負傷者にして廢人に屬せる者を救護するを目的とす）に基きて之を設置す
一、本會は愛國婦人會熊本支部に屬し腹赤、六榮、鍋三ヶ村聯絡す
一、本會は大體に於て熊本支部長の指揮に依りて行動すると
一、本會の指揮周旋は幹事に於て之を爲すと
一、便宜上幹事岡村とく子を會長とす
一、本會は毎月十五日腹赤村安正寺に於て集會を開き普僧を聘して有益なる談話を開くと
一、會員は年二回（三月八月）に六錢以上を寄附すると
但し一區に二名宛集綱委員を置くと
一、寄附金員は幹事に於て會費を除き之を支部に納附すると
一、毎月一回幹事は會員を代表して出征軍人の家族を慰問すると
一、會員は區内に戰死者あるときは其の葬儀に參列し本會よりは旗一旒を贈り弔意を表すると

◉京都支部　二月十五日より七日間京都支部の催にて從軍布教師中村亮道氏を招き活動寫眞會を催し其收益を婦人會に寄附するよし

◉石川縣支部　時局に關する昨年中同支部の行動概略左の如し

（一）軍隊慰問　支部長村上須磨子は客年六月總裁殿下の命を奉して出征せんとする第九師團を慰問し其後引つゝき副長幹事は各軍隊を慰問せり
（二）傷病者慰問　支部長以下職員十數名は支部を代表し金澤豫備病院の各室及各分院の傷病者を親しく慰問せり
（三）傷病者へ物品寄贈　支部會員一同の醵金を集め傷病者に物品を寄贈せり
（四）病衣等の裁縫　一時に多數の患者に對する病衣調製間に合さる爲支部に於て其一部を引受け職員及會員盡力の上二万五百枚調製せり
（五）臨時救護　臨時救護金を與へしもの拾六人其金額四拾五圓なり
（六）吊祠の贈與　其數二百以上に及べり
（七）遺族慰問及葬儀會葬　遺族に對しては職員を派して必ず慰問を爲さしむ會葬には市に在つては支部長副支部長の内必ず會葬し郡に在ては幹事部長幹事必ず會葬し數里の遠きも會葬せざるなし
（八）出征軍隊の見送り第九師團出征の際は職員一同一週間も停車場に詰かけ見送りを爲し將士の士氣を鼓舞するにつとむ
（九）傷病將卒の出迎へ　患者の豫備病院に歸る時は支部職員は擧て停車場へ出迎を爲し將卒の慰安を勉めたり

◉青森縣支部の近況は左の如し

△新年拜賀式　一月十日支部樓上に於て本會總裁殿下御眞影拜賀式を擧行し四澤支部長以下支部職員一同奉拜せり
△聯合職員會　各郡市幹事部に幹事を增置し新たに贊事を設置することゝなり時々幹事部に於て聯合職員會を開き出征軍人家族及戰死者遺族を慰問することに決し且つ軍事寄附金なるものを募集して是等貧困者を救助しつゝありて大に會旨の普及を圖れり
△組長設置　支部所在地幹事部を一月以降支部の直轄とし出征軍の送迎其他事務の敏捷を期せんか爲め職員を甲乙丙丁の四組に分ち組長一名づゝを置きて會旨擴張の衝に中らしむれり

◉大分縣支部　同支部に於ける客年中の行動の概況を記さんに

（一）會員數と支部發會式　三十六年十二月末日には僅かに二百五拾參人なりしか三十七年二月奥村女史來縣を機とし支部發會式を擧行し引續き職員の盡力と時局の刺激とに依り客年末には四千貳百十五人と增加せり

◉根島縣支部　同支部に於ける客年中の行動の概況は左の如し

（一）會員　三十六年末後四百五人なりしが昨年末後に至り千九百九十人に增加せり本年三月末日までに正會員五千人を募集の手答なり
（二）事務整理　支部細則を改正し分區を幹事部に變更せり
（三）救護　臨時救護者七人此金貳拾壹圓吊祠を送りしもの百八十人なり
（四）感謝狀　募集盡力者に感謝狀を送りし者八人
（五）會費　會費徴收高千五百拾七圓六拾錢なり

◉山口縣支部　同支部に於ける客年中の行動の概況を記せば左の如し

（一）會員數　當年中入會せし者三千百八人其内會費一時出金者百四十餘人
（二）救護　臨時救護者八人此金員貳拾四圓吊祠贈與數四百九十四人
（三）活動　縣下に於ける直接國税十圓以上納入者を標準として募集せし處大に好成績を得たり就中熊毛郡は僅に廿日間に千五百餘名の加盟者あり尚他部に率先して幹事部總會を開催せり
（四）收入　客年中の收入金千八百四拾八圓參拾一錢貳厘
（五）支部通則改正依り十一月より實施し各郡市幹事二百二十八人を囑託せり

◉山形縣支部　同支部に於ける客年中の行動の概況は左の如し

（一）會員　一昨年末後二百九十余名の處昨年末一万四千余名となれり
（二）擴張方法　上記の婦人に幹事囑托新聞紙を利用して本會の主旨を鼓吹せしめ支部長以下出張して講話會を開く
（三）恤兵　恤兵幻燈會を催し純益金二百圓を得其筋に寄附せり
（四）吊慰　臨時救護金を與へしもの二名吊祠を送りし者十六名
（五）家族及病者慰問　六百四十余名市内丈けの家族は各幹事分擔して毎月三回以上慰問せり病院には幻燈器蓄音器等を携へ慰問せり

◉奈良縣支部　山部郡幹事部に於ては慰問袋を調製中なり尚大阪豫備病院に出張慰問せり

◉兵庫縣支部　山手倶樂部に於て去る十日幹事會を開き會務に關する諸般の報告ありて後ち某海軍士官の實戰談ありたり

◉岡山縣支部　戰傷死者の遺族に對して臨時救護金を送りし數は百二十五戸にして其金額は三百七十五圓なりと云ふ尚ほ都窪郡大高村愛國婦人會總會を去十一日同小學校内に開きたるが午前は紀元節祝賀式を行ひ午後一時より婦人會總會に移り來會者四十餘名なり

◉山形縣支部　出征軍人家族慰籍の爲め去る五日音樂會を開きたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰報

◎沙河方面　敵軍の左翼を突擊して擊退されし後敵は只防禦工事を施しつゝあるの有様なるが最近の報によれば七嶺子方面に在ては去十四日午後敵の騎兵約二中隊双樹子より老歡坨に侵入し又他の敵の騎兵約二中隊は平房より大岔に向ひ前進せり又砲兵を有する約八九千の敵の騎兵集團は平房四方より南進し午後六時頃七嶺子西南約六里附近に於て渾河左岸に進出せんとしつゝありと云ふ

◎敵第三艦隊の出發　幾度か出發の報道傳りて其事實なかりし第三ボールチック艦隊は其擊言の手前へ躊躇逡巡するを得ずしてか本月十五日リバウ港を出發したる由ルーター電報の報ずる所なるが其筋にも右と同一の報道ありたりと云へば此度こそは事實なるべく船體機關船員に於て大に欠くる所あるは一般に事實と認められたる所にして左なきだに老朽用を爲さゞる舊式の軍艦より成る艦隊が我が精鋭なる堅艦に當り得べくもあらざれば又々第二艦隊の集合地マダガスカル邊まで來りて立往生するの外なかるべきかと云ふ

◉世界のしんぶん

◎最も高價の靴　此程ロンドンの或る有名なる貴夫人の穿ちし靴は珠玉を鏤ばめありて其價二百磅(我二千圓)なりしといふ世界中最贅澤なるものならん

◎傳書鳩　此種アデレイドフライング、クラブ、にては傳書鳩の飛行力を試みたるに四時間に三百一哩(我百二十里)を翔りたりといふ、是は今迄にては世界第一なり

◎二十番目の子　英國ウオーミンスターといふ地にて此程一婦人第二十番目の子を生みたりといふ此地方にては十四五人の家族は珍しからずといふ

◎トルコの天子　トルコ皇帝は常に暗殺を恐れて一晝夜に二三時間眠るのみなりといふ且つ皇帝の室は常に燈火に照され、帝の親任する人二三人帝の側に眠るといふ

◎露國の天子　露國皇帝の笏は純金製にして長さ三呎なり是に裝飾として二百六十個の紅玉石と十五個の鋼玉石を鏤ばめありとぞ

◎蜂蜜　蜂がうまごやし草の花より十一ポント(一貫三百匁)の蜜を集むるには 三、七五〇〇〇〇匹の蜂六二、〇〇〇〇〇〇個の花より蜜を吸ひとるとぞ

◎鸚鵡の學校　此程鸚鵡の學校シカゴに開かれたり教師は一婦人にして蓄音器にて教授し鳥の其語を記臆するに至りて止むといふ

◎木より新聞　木より新聞となる時間は凡そ百四十五分なり七時三十五分に木を切り九時五十四分には木の皮をとりこれを碎きパルプとなり紙となり、新聞社に送られて印刷を終るとぞ、

◎滊船の回轉數　太平洋を走る滊船の推進器はニユー、ヨーク及リウアープール間を航行する間に大抵六十三万回程回轉すといふ、

◎難船の數　各種の船舶は毎年二千隻づゝ失はるゝといふ、是によりて一万二千人は溺死し二千万磅、凡二億圓「の貨物も共に沈沒する割合なりとぞ、

◎水の分量　世界各國の河川によりて海に灌がるゝ水の分量は一日間に大抵八十六立方哩なりといふ

雜報

◎日本女學校　日本女學校に於ては目下生徒募集中なるが新學期よりは寄宿舍を設け之れに一切の生徒を收容する筈にて食料一ケ月六圓舍費一圓なりと云ふ

◎女子美術學校　來る四月新學期開始につき生徒募集中なるが入學を許す科目は日本畫科西洋畫科彫塑科蒔繪科編物科造花科刺繡科裁縫科の各組なり志願者は三月廿五日までに願書を差出すべしとの事なり

◎女子職業學校　同校にては畏き邊りの御沙汰に接し附米遣花編物繪繡刺繡等の製作に從事中なりしが去る十五日宮内省へ納めたりと云ふ右製作中の優麗なるは花瓣に電氣を仕掛けたるものにて何れも華族家其他より寫生し來れるものにて戰捷を意味したる月桂冠に形どりたるものゝ由尚ほ戰捷紀念十二ケ月屛風の如き、生徒の製作として丹精をこらせしものなる由

◎實踐女學校　清國女學生を引受け教育中なるが同校にては清國の風俗民情等を視察せしめ教育の實を完つとうせん爲に四名程支那に派遣する趣きなり

◎恤兵展覽會　女子美術學校に於ては三月廿六日二十七日の兩日生徒の作製品を陳列して恤兵展覽會を開く計畫なりと云ふ

◎慈善音樂會　華族諸氏の催しにかゝり去る十八日十九日に於て義勇艦隊製造費補助の爲め慈善音樂會を開きたり

◎軍隊天幕事業補助の音樂會　去にし十一日紀元節に於て開きし同音樂會は頗る好結果を終めたり

◎精神病者慰藉會　去にし十一日紀元節に於て巢鴨東京精神病院内に於て開かれたるが患者自身種々なる藝を演して自から慰藉し三味線の上手なる婦人あり踊りの上手なる男子あり殆んど精神病者には非さるかの如き感ありし來賓には片山醫學博士夫人等も見受けたり

◎恤兵音樂會　松本樂器店にては其開店二周年を祝する爲めに來る十八日神田青年會館にて恤兵音樂會を開くよし

◎傷病兵慰問の一工夫　岐阜市の田中久子孃は獨力傷病兵慰問の事を思ひ立ち古雜誌を集め滊車中の病人に贈與せる趣きなるが此美擧が遠近に傳はり雜誌の寄贈者多き趣きなり

◎模範村長歡迎會　町村の模範を示して有名なる靜岡縣稻取村村長田村又吉宮城縣生出村長長尾四郎右衛門千葉縣源村村長山本八三郎氏を來る廿日華族會館に招き其功勞を慰め兼て他の町村自治に從事する人々の奬勵に資するよし

◎日本兒童研究會　同會は十九日午後一時より一ッ橋外帝國教育會内に第一回講演會を開く由其演題家庭の責任松本孝二郎兒童の美感に就て高島平三郎氏なり

◎女權擴張に關する請願書衆議院を通過せんとす　女權擴張に關する諸願書は年々歲々矢島楫子女史の盡力にて兩議院に提出されつゝあるにも拘はらす毎議會に於て常に握りつぶしの運命に遇ひ居りしが本年の議會には幸ひにも請願委員の手許に於て之れを決議に付すべきものと決せりと云ふ今其請願に對する内容を示さんに元來日本の法律には同一行爲にて男子に寛にして女子に嚴なる法條あり之を改めて男女同等の規定となさんとするに在り刑法の條文に於て不當なるケ條は第三百五十三條に有夫の婦姦通したる者は六月以上二年以下の重禁錮に處すとありて有婦の夫が他女と姦するも等しく人倫上大罪なるに拘はらす處罰の規定なし之れ今日日本社會に於ける男子が女子に對して貞節を守らさる根源にして文明國の法律に男女其規定を異にし一は有罪となし一は無罪とするか如きは法制の宜しきを得たるものにあらず社會の風儀を維持する上よりも必ず之れが改正を要すと云ふにあり又民法第八百十三條裁判上離婚の原因中第三項に「妻が姦通を爲したるとき」との規定はあるも「夫が姦通を爲したるとき」との規定なし是又一國法律上に於て同一破倫の行爲に對する制裁が男女に依て區別あるものにして文明國の法律規定と認むる能はず況んや今日の如き男子ふ倫亂なる行爲を逞ずるか如き時代に於て法律上女子にのみ其貞節を守らしむる爲の規定を設さ男子に之れが規定を置かさるは國法上の大過失にして之れが改正を要求すると云ふにあるよし

◎女子宗教學會講演　毎日曜日神田錦町女子商業學校に開會聽講者は女子に限る

◎女子體育奬勵會　三千餘人の會員を有し此程開始せる漕艇料の如きも頗る良好の結果を得たるを以て此際益々規模を擴張し漸次各地方に同一の起業を奬勵する都合なりとか

◎婦人圖書閲覽所　當發行所に設立し無料にて閲覽を許し居る婦人圖書閲覽所は良書未た十分に集らさるも婦人の熱心に來覽せらるゝ方あり

◎征露記念　盃類圖案一班　帝室技藝員　川端玉章先生畫

征露之圖
蜻蜓ハ我邦ノ地形ニシテ今ヤ其羽ヲ伸ベ宇内ニ勇飛スルヲ示シ鷲ハ敵國ノ徽章ニシテ竟ニ羽翼ヲ傷ハレ潰敗スルヲ諷昧ス

東京市京橋區尾張町二丁目(電話特三三三、三一五三)
時計及寶玉類内外雜貨　貴金屬美術品銃砲火藥商　天賞堂
◎無料贈呈(明治卅七年十一月增訂)天賞堂營業一覽(郵費四錢)

新刊　女子教科　實踐教育學
女子高等師範學校教授　黑田定治先生
女子高等師範學校教授　東　基吉先生　共著

教育學書の刊行せらるゝもの頗る多し。然れども特に女子用の教育學書に至りては甚だ少し◎本書は多年女子高等師範學校に在りて教授の任に當らるゝ兩先生が今回女子用教科として適切ならしめんが爲めに執筆せられたるものにして先づ筆を一般教育の理論より起して心理學の應用に及び以下家庭教育、幼稚園保育の如き最も詳密を極めたれば、女子教科として極めて適切なるのみならず、一般女子の教育學を學ばんとする人に取りても無二の良書をいふべし、

定價金六十錢　郵税一册六錢　製本頗優美

幼稚園保育法
女子高等師範學校教諭　後閑菊野先生　大山斐瑳麿先生　共著

幼稚園教育のこと近來漸く盛なるに至りたりといへども悲しいかな之が原理方法等につきて詳細に記述したる書籍なきを以て日々斯業に從事せる保育者其人に於ても更に進んで研究發明の參考に資するものなく殊に新に斯業に從事せんと欲する人に於ては遂に以て保育の何たるを知るに由なく爲に百事日新の時に當り幼稚園のみ遲々として獨り舊觀を改めざるが如き有様なるは實に我國教育界の一大恨事といふべきなり本書は著者が多年實際につきて研究推敲せられたる結果になりたるものにして先づ筆を一般教育より起して家庭教育學校教育を詳述し次て幼稚園の必要保育の要旨保育の事項方法等其他一切幼稚園に關する實際の事項は勿論フロエベルの傳記學説等に至るまで一々明瞭に記述して餘す所なく殊に附錄として幼稚園の設備をも添えたれば何人も本書に由りて幼稚園の原理と實際とに通ずるを得べく幼稚園保育者は勿論小學校教師並に特に家庭の教育に心を用ゐらるゝ人々に取りては必讀無二の良書といふべし。乞ふ續々御注文の榮を賜はらんことを

定價金七十錢　郵税六錢　フロエベル氏肖像及手跡彩色圖形入リ製本頗美麗

家事經濟學
總論 家、經濟、家事經濟學、家事經濟學の地位、其特質を述べ 收入論 は收入の意義、種別、內容を說きて利子、勞銀、企業所得等より理想的收入に及ぼし 支出論 は支出の意義、種別、內容を敍し、衣、食、住其他各種の支出を詳說し又其比例並に原則を示し 會計論 は會計の意義機關、豫算、決算、收支の調理を述べ收入と支出の關係より不足の補充、剩餘の管理に至る迄精細に說明し附するに 家計簿記 を以て 結論 に達す

洋裝全一册　定價金六十錢　郵税金六錢

毛髪を能くする發明案內

發行所　東京市日本橋區通リ三丁目　成美堂
◎東京市京橋區南傳馬町二丁目　目黑書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
定期預金 六ヶ月以上 年五分三厘
當座預金 百圓に付日歩 八厘
特別當座預金 同日歩 壹錢壹厘

胃病良藥 太田胃散

寫眞撮影 淺草公園 江崎

西川商舖牛豚肉販賣 謹告
品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市內何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辨
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味
價格左ニ

牛肉百匁

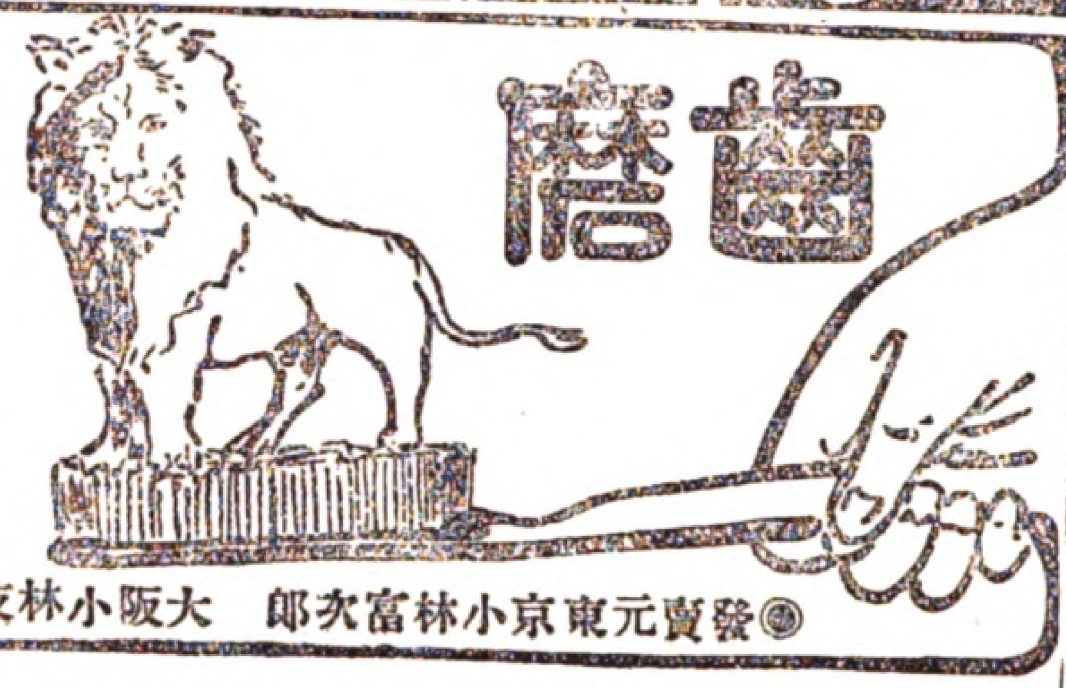
ヒレー	円50
ロース	45
ラン	38
ステキ	38
イチホン	38
ヒキ肉	30
ブリスケ	22
ハラスープ	16
スネスープ	20
尾	15
ケンネン	05
舌	42
ケンネン油	14
ヘット	16

豚肉百匁

上等	20
並等	18
チヤブ	14
ヒキ肉	16
油	16

恭賀新年
小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二三七一 西川支店

品質純良 意匠斬新 染色注意
御注文之節ハ遠近ヲ不選出張致し可申候
神田區表神保町(小川町通り)
伊沢呉服店
電話本局二三一七

ライオン齒磨

品質良好
愛すべき佳香を有し
齒牙の保全に効あり
◉發賣元 東京小林富次郎 大阪小林支店

歐米新流行 高等洗顏料 セーネー
本品は使用の時乳色に變し永く芳香を保つ
◉定價大瓶五十錢小瓶廿錢
市內ハ御注文ニ依リ配達仕候
發賣元 東京市日本橋くれまさ町七番地 松泉堂

和洋高等裁縫部各技藝 專修生募集
本科速成科高等科研究科四月一日ヨリ開始
裁縫術ハ從來ノ實力養成上不完全ナル教授法ヲ改良ス ◎造花摘ミ細工刺繍袋物編物組糸細工圖畫 授業ハ毎日ノ他日曜土曜科ノ設アリ ◎造花科ハ通信教授ノ設アリ(規則書ハ貳錢郵券送レ)
宮中御用裁縫師三越呉服店裁縫主任加藤嘉兵衛
◎各受持教師ハ皆斯術專業者ナリ
東京神田小川町二ノ二四
日本女子技藝教習所
所長 造花技術校主 山田興松 他職員拾餘名

半ゑり帶揚類 嶄新考案最魁 價直低廉斷行
○ショール縮緬縫刺○紋九重織○烏帽子織○旭織
○肩裏地○襦袢袖○帛紗地○戰捷ネキタイ○前掛
○占領ひも○襟巻○日本占○見女方涎掛○守巾着
○受賞まげ入ゑり治形○すゝめ形 高等洗粉 顔肌美白 スミレ チエリー 香料入
新橋竹川町十二番地 電話新二〇二七 本店 ゑり治
神田表神保町壹番地 電話本局九五二 支店 ゑり治

袴之親玉 美濃磯

東京日本橋區長谷川町 卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
小賣部 本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店 電話下谷一四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐內町 美濃磯佐內町支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

醫院案內

院長 醫學博士 榊順次郎
副院長 醫學士 久保徳太郎
婦人科產科榊病院 每日午前診療 每日夕刻診療
東京麹町三番町卅三(電話番町三九五)

◉水原產科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

ドクトル 川瀬元九郎
東京市麹町區隼町二十八番地
內科一般 內科的小兒病
身體檢查并に運動療法
診察午前中(電話番町八二二番)

小兒病診療
醫學士 內田愼太郎
淺草區福井町貮番地
宅診午前 往診午後
◉電話下谷七一八番

耳鼻咽喉科院
院長 ドクトル 山上兼輔
診療每日午前
四谷區本村町三十七番地(士官學校前)
電話番町七三〇

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
鳥山內科院
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番

神田區今川町三番地
內科病特に腦脊髓神經疾患
院長 ドクトル 峰秀世
峰內科醫院
(電話本局三〇一九)

齒科治療
横濱出張 每日午前八時ヨリ午後五時迄
每月曜日横濱市高島町十八番船橋方
名倉齒科醫院
京橋區南金六町一一番
電話新三二六三

增補再版 毒草
與謝野鐵幹 同晶子女史(合著)
文學士上田敏序
文學士內海月杖序
藤島武二畫
薄田泣菫跋
◉定價上製金七十錢並製五十錢郵税六錢
◉初版旬日に賣切れ增補再版本日發賣
發行 東京本郷區東片町二十六 本郷書院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店
◎東京堂　神田區表神保町三番地
◎東海堂　京橋區銀座四丁目

油染油垢で揉ずに脱る奇代の原料

世界無比新發明　英國製ワッセル

●此ワッセルは湯一升に二匁（小盃へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡貳時間浸し揉まずに置き後水にて洗へば自然に脱ます白地の着物シャツ足袋等には石鹸より數倍の効用があります
●婦人の髪は一匁五分（小盃へ半分位）を一升餘の湯に溶解して洗へば玉子と同様の効用があります脂肪多き身躰に常に使用すれば皮膚を密にします尤も水虫糸かせ手のあれる事は決してありません
●食器臺所道具は勿論戸棚板の間の拭掃除にも有効です絹木綿毛織物を晒すに至極妙です又硬水を軟水にする特効があります蒸汽管の鑵石も奇妙に除去ます

芳香ワッセル

●此ワッセルは香料其他衛生に適する各種の原料とを加味せしものなれば朝夕御用ひの方に香氣馥郁として色を白くし總て皮膚の患にかゝるとなし又おしろい下を用ひずして御化粧の出來る事妙なり

ワッセル水―ワッセル石鹸

●此品も芳香ワッセル同様の有効品であります論より證據一度御用ひあれば其効能はすぐ知れます

東京京橋區卅間堀三丁目河岸
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌あらい芳香ワッセル製造元　三友商會
（電話新橋千七百十二番）

費用と手數を省き無害有効の洗淨品

新荷到着
●アイスウール（編物用絲）
●貴婦人及ビ小供用帽子
●貴婦人小間物一式
東京市銀座三丁目
伊勢與　三枝小賣部
（電話新橋三九二七番）

めりんすゆうぜん
人形町通住吉町
ゑのきん
おゞるかや

改正新形　篤志看護帽子
多數出來合有之候間御注文願上候
婦人洋服地并附屬小間物帽子及袴地
八木屋號
東京市麹町二丁目七
大國市藏
（電話番町七四二）

（明治三十八年二月廿日發行（毎月五日二十日二回））

吾家の會計を整理するの法如何

家庭之友記者羽仁もと子編
家庭之友家計簿
正價金參拾六錢郵税六錢

婦女新聞の評　家計簿中の最も完備したるもので毎月の豫算超過を防ぐこと冗費を省くこと年末の總勘定を容易に知り得ること等は編者の最も苦心したる所云々
毎日新聞の評　將來は知らずイザ是れ迄かゝる良簿冊は無い是れ一家に缺くべからざるもので實に主婦の虎の卷である云々

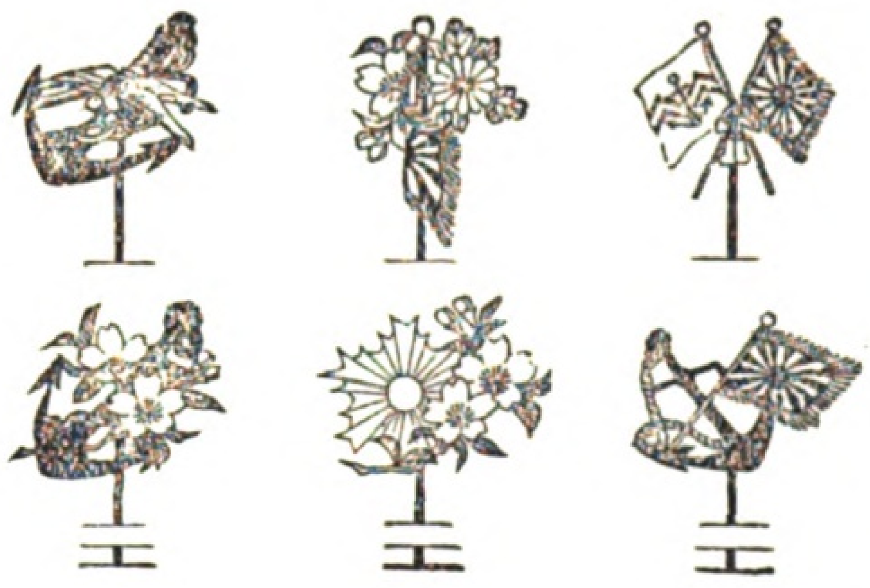
販元　東京本郷區駒込西片町十　内外出版協會（郵券代用は謝絶す）

●最新式寶石入指環

(1)ダイヤモンド一個入甲四百五十圓乙三百圓丙二百圓丁百五十圓
(2)ダイヤモンド二個入甲百八十圓乙百二十圓ダイヤモンド及ルビー入八十五圓
(3)ダイヤモンド二個ルビー一個入二百圓ルビーダイア及サフハヤ三個入七拾圓
(4)サフハヤ一個ルビー二個入甲二十五圓乙十五圓ルビー三個入甲十六圓乙十二圓
(5)ナベール周圍ルビー入甲二十五圓乙廿圓ルビー周圍眞球入甲五十圓乙三十圓丙二十圓
(6)ダイヤモンド一個入甲一百圓乙八十五圓ルビー亦はサフハヤ入拾五圓拾二圓拾圓

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
電話新橋五五一番

戰勝紀念ピン



金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價　純銀製一個金三十五錢以上
餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋裝に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮内省御用達
東京市下谷區池の端仲町
玉寶堂
電話下谷一特九六五番　一二四四番

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

寫眞版四十餘枚皆獨得
彩色寫眞版の大々附錄あり

征露寫眞畫帖　第九編
二月十日發行　一月一回　一冊廿錢　郵税弐錢　半年分郵税共壹圓七錢

大附錄　金枝玉葉の御武裝
彩色燦爛縱一尺八寸横一尺三寸大の最近御影
御出征遊ばされし伏見閑院東伏見山階久邇梨本伏見若宮の七殿下及同妃殿下十四殿下の最近御尊影を一幅の中に集め決して他に見るべからず帝國臣民は是非一枚を備ふべき者

大本營秘藏寫眞
……本社に寫眞師を特派したる者は天下……
旅順特派員寫眞
……唯一の本社あるのみ珍品數百枚到着……

を書報に挿む者唯本社あるのみ
沙河激戰旅順寫眞珍品多し
壯烈無比の光景躍如たり最近旅順入城式の大壯觀等珍品十數枚

東京麹町區有樂町三丁目一
實業之日本社
賣捌　各地書店

●ドクトル木村順吉　藥劑師歌橋又三郎　發明
廿世紀改良防寒溫體具

福壽帶　一名くすり帶
定價　一五十錢、七十五錢　一九十錢、一圓五十錢　二圓、郵税十錢
（冬季御進物用に適す）

●藥帶福壽帶は濕氣　吸收力　強大　動物電氣　刺衝の發溫具にして冷性の人産前産後、子宮諸病、りうまち、疝氣寸白、腸胃、心、肝、肺、膀胱、腸膜、盲腸等の患ある人寢小便のくせある人、齒痛、腹痛のときは火にあぶり用ひて奇効を奏す常に用ゆれば感冒、惡疫を豫防し芳香馥郁として惡臭を去り除虫の効あり故に陸海軍人旅行家には尤も適當す
發賣元日本橋駿河町三井銀行前輔仁堂●特約販賣東京新橋際福原資生堂牛込宮比町尾澤藥店其外各地有名藥店にて販賣候

西洋食料品並に洋菓子化粧品
亞米利加屋
村上堅吉
神田區今川小路二丁目四番地

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會内

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年二月二十日發行（毎月五日廿日二回）
明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）

愛國婦人第七十二號附錄

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

評議員
司法大臣夫人波多野爲子

神奈川縣支部幹事
渡邊福三郎夫人渡邊たま子

廣島支部幹事
廣島市長夫人伴きく子

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN